



# 「下村満子の生き方塾」ニュース

号外 2017.12

## — 孫紅様追悼号 —



「下村満子の生き方塾」の塾生であり、世話人だった孫紅さんは、9月10日、故郷の中国・瀋陽で急逝し、孫さんが取締役を務めている HIC 株式会社は、11月18日、東京・赤坂のアークヒルズクラブで「お別れ会」を開きました。故人の人柄を映し出し、「お別れ会」には、200人もの方が参列し、「生き方塾」からも、下村満子塾長、伊東優子事務局長ら20人が孫さんの永眠を悼みました。

孫さんが「生き方塾」に入塾したのは4月で、在籍したのは半年足らずでしたが、入塾以前には、3月に「生き方塾」が主催した小泉純一郎元総理の郡山での「自然エネルギー講演会」にも積極的にに関わり、世話人としての役割も果たしていました。「お別れ会」の様相を紹介すると同時に、席上参列者に配った孫さんの「生き方塾」での記録をまとめました。 (構成・皆川猛)

## 孫さんの急逝を悼む



孫さんが好きだった胡蝶蘭を  
1本ずつ献花する参列者

## 死とは永遠の生命に戻ること



下村塾長は、次のように、お別れ言葉を述べました。

—孫紅さん、今日は、あなたを好きだった沢山の方々が、ここに集まっています。美しいお花があふれんばかりです。そんなことを言う必要はないわね。だって、あなたはここにいますから。私にはそれがわかります。

孫さんが中国で急死されたと聞いた時は、信じられませんでした。中国へ出かける直前にかかってきた電話の声は、あんなに元気で、明るかったのに。目の不自由な私を心配して、「お料理が大変でしょう。私が餃子を作りに行っておあげる」と言ってくれました。

「人は決して死なない」、「ただ、命の源泉に戻っていただけ」。「生き方塾」で、私たちが原点に据えている「禅」の生命観です。この地上に一つの命が誕生してから今日まで38億年。私たちは

みんな繋がっていて、一人一人がその命の連鎖、ネットワークを支えています。ということは分かっていますが、やはり、孫さんがこの現世から、あっという間に去って行ってしまったのは、とても残念で、悔しいです。この世で出会う奇跡的な縁をいただき、これからいろいろなことを、一緒にやろうと思っていたところなのに。

孫さんが「下村満子の生き方塾」に入塾したのは、わずか半年前。でもすぐにその存在感を示し、活発な発言をし、私にとっても頼りになる塾生でした。孫さんも、「生き方塾」を人生の中心に据えたい、と言っていました。でも、考えようによっては、サッと逝ったその最後は、カッコイイといえば、カッコイイ。彼女らしい、ともいえます。

皆様は「安らかにお休みください」と言いますが、私は、孫さんは、早くもあちらの世界でエンジンをかけ、何かを始めていると思います。彼女はきっと、あちらでやりたいことがあったのでしょう。

孫さん、私もそう遠くない将来、そちらに行きますから、また、そこで色々と語り合い、そして一緒に楽しく活動しましょうね。待っていてくださいね。

それまでは、私も貴方のように、こんな素晴らしい、心のこもった「お別れ会」をしてもらえるように、一生懸命この世で「心を高め」「徳を積む」努力をします。



## あなたの分まで生きる

高橋宏史 HI 社長は、次のような弔辞を述べ、孫さんに別れを告げました。

—9月15日午後、あなたの訃報に接しました。あなたが亡くなる前日の9月9日夜、中国に帰省しているあなたと少しだけ話をしましたが、その時は、鹿児島からの帰宅で疲れていたから、次の日に向け直すと言いました。

それっきり電話は繋がらなくなりました。

私たち2人の間には、ジンクスがあります。買い物の際、444円とか、4444円といったレシートが出ると、とても厳しい現実が起きます。連絡が途切れていた9月12日にも、444円のレシートが打ち出されたため、全ての仕事先に電話しましたが、変わった様子はないので、安心していました。ところが、9月12日はあなたの火葬日でした。今日は、あなたが家でも懸命に育てていた胡蝶蘭を444本供えました。

14年前の2003年、私たちは、東京の新宿で出会いました。あなたはその時、「空腹だったけど、パンを買うのをためらった。中国より、何倍も高かったから」と言いました。中国にいる貧しい両親に、少しでも仕送りをしてあげようと考え、空腹を我慢して、買わなかったのでしょうか。私は、あなたが情に厚く、自己犠牲をいとわない意思の強い女性なのだと思います。

20年以上前、あなたは中国政府が国費留学生を募っていることを知りました。しかし、コネを重視する中国社会で、あなたには、有力な伝手（つて）はありません。だけど、あなたは、見事に合格します。面接では日本語を話せないのに、笑顔で日本語のスピーチをしたと聞いています。ハッター戦法で、来日する運を掴みました。あなたは、強運で才覚ある、女性なのだと思います。

来日してからは、ホームステイしながら、一生懸命、働きました。2、3時間の睡眠時間で、日本語の勉強をし、何年か日本で稼いだら、中国に帰るつもりでいたことを、打ち明けられました。あなたは努力家で、粘り強く、気高い女性なのだと思います。そんなあなたと、私は一緒に起業

することを決めました。あなたとなら、きっと成功すると信じたし、あなたも私に、「今は、あなたは、ただの石だけど、私は、あなたを、ダイヤモンドの原石だと思っている」と言ってくれました。私は口説かれたのです。さすが日本一の営業ウーマンです。

来日して間もなくの2003年7月の雨の日です。西新宿の高層ビルの間を、一緒に傘をさして歩いた時、あなたが言った言葉は「10年後も一緒に傘をさして歩けたらいいね」です。私たちの記念日は、それからすぐの7月14日です。翌15日あなたから、「神に10年間一緒にいられますようにと天に祈った」とのメールをもらいました。10年後の2013年7月15日の手帳には、「神様との10周年約束が終わり、ありがとう」と書かれていました。新宿の高層ビルの間で傘をさして、二人で誓ったことを、守れたこと。それは私の唯一、救いというか、今、心の支えになっています。

あなたは、2カ月間の9月6日、瀋陽へ向かいました。その2週間前、車で走っている時、「私は、今年か来年で亡くなるかもしれない」と深刻な様子で話を始めました。重要な案件で、ピシヤリと当てる勘を出す時の、表情と声でした。それを聞いて私は、いつも怒りませんが、怒りました。

これまでに話したことは、孫さんと、私しか知らないことではありますが、全て真実です。私が初めて読む弔辞が、最愛の人であるあなたに対するものだとは思っていませんでした。

私は、まだ36歳。あなたのおかげで、生きていることに、感謝することができるようになりました。あなたが羨むくらいに、精一杯、あなたの分まで、生きることにしました。これからも、心を高めることをやめないで、経営を伸ばしていきたいと思います。見守っていてください。

合掌一

## 孫紅さんを偲んで

2017年11月18日

孫紅さんは今年4月、「下村満子の生き方塾」に入塾し、4月から6月まで毎月の勉強会に出席していました。この塾に対する熱意は並大抵のものではなく、新入塾者でしたが世話人として名を連ねていました。勉強会の感想文や、勉強会、夜遊び学でのスナップ写真などをまとめてみました。

●4月22日 東京音羽・鳩山会館でのⅧ期開塾式  
孫さんが披露した入塾動機や決意

「下村塾長は素晴らしい方で、私の恩人でもあり、大変尊敬しています。塾長の素晴らしさの原点である「生き方」を学び、社会そして多くの方に恩を返したいと思って入塾しました」

開塾式で塾長講話に耳を傾ける孫さん



●5月27日 福島県二本松市・県男女共生センター、下村塾長実家での5月勉強会  
孫さんの勉強会感想

「下村塾長の人生観、考え方に大変共感し、感銘を受けました。塾長の原点は坐禅であることも素晴らしく、とても感動しました。その坐禅を教えていただいたことに感謝し、これからの人生に生かしたいと思います」

塾長の実家で坐禅を初体験する孫さん



5月勉強会の夜遊び学では塾長実家の玄関に飾られている掛け軸の文言を解説しました。その博学ぶりにも驚かされました。

博学ぶりを披露する孫さん



●6月17日 東京四谷・スペース天夢での6月勉強会  
孫さんの勉強会感想文

「ソーシャルインパクト投資というDVDの内容に大きな興味を持ちました。今の中国にはそうした考え方が必要です。中島さんのパーソナルブランドも勉強になりました。ぶれない人になりたいですね」

この日は下村塾長の誕生日と重なり、近くのカラオケボックスで開かれた夜遊び学は大盛況となり、最後には塾長を囲んでの記念撮影になりました。



塾長の誕生日を兼ね大盛況となった夜遊び学。塾長の左隣に孫さん